

やわらかなともしびであるあかんぼう
神さまを見つけたゴミを拾っていた
おもしろい仲間この世はおもちや箱
ゆっくりとボケているので分からない
あの世にも桜並木があるように

新家 完司

第二十一回

四万十川 川柳全国大会

四万十川の青き流れを忘れぬや

上林

暁

【主催】幡多信用金庫

【後援】四万十市教育委員会
中村商工会議所
四万十ロータリークラブ
土佐くろしお鉄道
四国しんきんカード
RKC高知放送
KSSさんさんテレビ
中村若鮎川柳会

四万十市観光協会
中村ロータリークラブ
四万十ライオンズクラブ
国際ソロプチミスト幡多
高知新聞社
KUTVテレビ高知
朝日新聞高知総局



公的年金のお受取りは、当金庫に振込指定いただきますようお願いいたします。
また、年金定期預金など、各種の金融商品等についても、ご利用くださいますようご案内いたします。

【選者】

新家 完司 先生

(しんけ かんじ)



○ 略歴

昭和17年 大阪生まれ(77歳)
昭和59年 川柳塔社同人
昭和60年 川柳展望会員
平成8年 毎日新聞とっとり柳壇選者
平成11年 大山滝句座設立(世話人代表)
平成23年 川柳塔社副主幹のち理事長

○ 著書

平成元年 第1句集「平成元年」のち、「平成五年」
「平成十年」「平成十五年」
「平成二十年」「平成二十五年」
「令和元年」
平成23年 「川柳の理論と実践」

※今大会は表彰式・講演会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止とさせていただきます。何卒、ご理解賜りますようお願い申し上げます。例年に変わらずふるってのご応募をお願い致します。なお、入選作等の選定、川柳入選句集の作成は例年通り行うこととしております。

【開催趣旨】

日本に残された最後の清流、四万十川の青き流れを日本のすべての河川のシンボルとして、いつまでも後世に伝えてゆきたいと思います。

このような思いから、四万十川川柳全国大会を開催することにいたしました。

ふるってご参加のほどお願い申し上げます。

【募集要項】

○ 投句

・雑詠(四万十川川柳全国大会ですが、特に四万十川に限定いたしません。)

・二句一組千円、何組でも投句可能。ただし、未発表作品に限ります。
○投句用紙 ・募集要項付の投句用紙をご希望の方は、下記までハガキ又は電話でご請求いただくか、幡多信用金庫ホームページ

(<http://www.shinkin.co.jp/hatashin>)内の「四万十川短歌俳句川柳大会」からダウンロード出来ます。また、原稿用紙で投句されても結構です。

※氏名、住所、電話番号と大会への出欠を必ず記入してください。

○ 応募締切

7月3日(金)当日消印有効

※最寄りの幡多信用金庫の本店、各支店でも投句を受付けます。

○ 投句及び問い合わせ先

〒787-0021

高知県四万十市中村京町1丁目17番地

幡多信用金庫 川柳係

TEL0880(34)2121

※応募後の作品変更は、お受けできません。

応募作品の著作権は、主催者の幡多信用金庫に帰属します。

【入賞者への通知】・入賞者へ賞状・賞品を送付

【投句者へ】

・後日、入選句集を送付